2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社アルファパーチェス　　上場取引所　東
コード番号　　7115　　ＵＲＬ　https://www.alphapurchase.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　社長　　（氏名）田辺　孝夫
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　　（氏名）芝村　健太　　ＴＥＬ　03-6628-8453

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有　（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	46,242	8.0	1,035	0.3	1,044	0.7	710	△0.9
2025年12月期第３四半期	42,822	6.1	1,033	22.6	1,037	25.3	717	20.7

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　710百万円（△0.9%）　2025年12月期第３四半期　717百万円（20.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	72.40	70.82
2025年12月期第３四半期	73.97	70.91

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	16,849	7,133	42.3
2025年12月期	19,854	6,742	34.0

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　7,133百万円　2025年12月期　6,742百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	37.00	37.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				37.00	37.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
　　２．2025年12月期　期末配当金の内訳　普通配当32円00銭　記念配当５円00銭

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,300	10.8	1,650	12.4	1,650	11.2	1,130	9.6	115.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	9,925,000株	2025年12月期	9,854,500株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	84,712株	2025年12月期	87,512株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	9,818,361株	2025年12月期３Ｑ	9,697,064株

（注）当社は役員株式給付信託（BBT）を導入しております。このため、期末自己株式数については、当該信託保有の当社株式（2026年12月期３Ｑ末84,600株、2025年12月期87,400株）を含めて記載しております。また、期中平均株式数については、当該信託保有の当社株式の期中平均株式数（2026年12月期３Ｑ85,769株、2025年12月期３Ｑ37,436株）を控除する自己株式数に含めております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

https://www.alphapurchase.co.jp/ir/

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（追加情報） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間(2026年１月１日～2026年９月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やAI活用に向けた投資を含む堅調な設備投資、また堅調なインバウンド需要による関連サービス業の下支えを背景として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の影響による原材料やエネルギー価格の高止まり、人件費の上昇などによるコスト増加が継続しており、多くの企業において業務効率化やコスト最適化へのニーズが高まる状況となりました。

このような状況の下、当社グループのセグメントのひとつであるMRO（Maintenance, Repair & Operations）事業に関する工具、消耗品、安全用品、修繕部品、文房具などの間接材の市場では、主力の大企業向けでは中東情勢の影響から、石油由来の製品の在庫を確保すべく、前倒しで商品を購入しようとする動きが年度前半には見られましたが、第３四半期にはそうした動きは少なく落ち着いております。一方、仕入価格の高止まり傾向は、原材料やエネルギー価格の高止まりを反映し、継続しております。親会社のアスクル株式会社を経由した中小事業所向けは昨年度に同社が受けたランサムウェアの影響が残存し、商流は元の状態に戻っているものの、売上高は引き続きマイナスの影響を受けております。もうひとつのセグメントであるFM（Facility Management）事業に関する商業施設向けサービス市場では、インバウンド需要が堅調であることと、建設コストの上昇により新規の建設より改装を選択する顧客が増えていることから改装需要は旺盛です。一方、そうした需要に見合う、改装業者を十分に手配できない傾向も顕著になってきております。販売費および一般管理費（販管費）については、賃上げに伴う人件費の増や、IT投資・経費の増により前年同期比で増加しております。

以上のような環境および状況の下、当社グループの当第３四半期連結累計期間における売上高は46,242百万円（前年同期比8.0％増）、営業利益は1,035百万円（前年同期比0.3％増）、経常利益は1,044百万円（前年同期比0.7％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は710百万円（前年同期比0.9％減）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

間接材購買のためのシステム提供と物品販売を行うMRO（Maintenance, Repair & Operations）事業において、主要顧客である大企業向けでは、当社が「無限カタログ」と命名した電子カタログシステムの活用を中心に全般的には堅調に推移しております。ただし、顧客利用の拡大ペースが緩やかに推移したことにより売上の増加は前年比で小幅にとどまっております。また当社の親会社であるアスクル株式会社を経由する中小事業所向けの販売は、昨年発生した同社へのランサムウェアの影響が残存したことから、売上は前年を下回る水準で引き続き推移しております。費用（販管費）面では、今後の売上拡大に向けて、営業リソースを増強した影響により人件費が増加しました。これらの結果、MRO事業の売上高は35,009百万円（前年同期比3.1％増）、セグメント利益は微減の859百万円（前年同期比1.8％減）となりました。

商業施設向けにサービスの提供を行うFM（Facility Management）事業においては、改装需要が旺盛であることを背景に、当社の大型工事案件は好調を維持しております。一方、大型工事以外の一部の案件で粗利率が低下していることから売上の増加ほどには粗利額は増加しませんでした。しかしながら、規模の拡大が固定費増を吸収する形となりFM事業の売上高は11,215百万円（前年同期比26.8％増）、セグメント利益は122百万円（前年同期比18.1％増）となりました。

その他事業は、当社の子会社であるATC株式会社のソフトウエア事業が中心であり、当社向けのITシステムの開発および運用支援を中心とする内販事業と、同社が高度なノウハウを持つMDM(Master Data Management）関連の外販事業がその主な内容ですが、外販分のみを「その他事業」に計上する売上高は17百万円（前年同期比45.8％増）、内販分の利益等を含むセグメント利益は53百万円（前年同期比0.7％減）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は13,906百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,237百万円減少しました。休前日効果（前年度末は休前日）等により、現金及び預金が1,692百万円、売掛金、契約資産及び電子記録債権が2,051百万円減少し、棚卸資産が532百万円増加したことが主な要因です。固定資産は2,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ232百万円増加しました。無形固定資産が197百万円、有形固定資産が86百万円増加し、投資その他の資産が51百万円減少したことが要因です。

これらの結果、総資産は、16,849百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,005百万円減少しました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は9,574百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,464百万円減少しました。休前日効果（前年度末は休前日）等により、買掛金が3,147百万円、未払法人税等が248百万円減少したことが主な要因です。固定負債は140百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加しました。役員株式給付引当金が35百万円、資産除去債務が32百万円増加したこと等によるものです。

これらの結果、負債合計は9,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,396百万円減少しました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は7,133百万円となり、前連結会計年度末に比べ、391百万円増加しました。新株予約権行使による資本金、資本剰余金各18百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益710百万円の計上、剰余金の配当364百万円による利益剰余金346百万円の増加が主な要因です。

これらの結果、自己資本比率は42.3％（前連結会計年度末は34.0％）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,693百万円減少しました。なお、当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、589百万円の支出超過（前年同期は667百万円の支出超過）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,044百万円、売上債権の減少額2,051百万円、減価償却費534百万円の収入要因があった一方、仕入債務の減少額3,147百万円、法人税等の支払額580百万円、棚卸資産の増加額532百万円の支出要因があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、774百万円の支出超過（前年同期は703百万円の支出超過）となりました。その主な要因は、無形固定資産の取得による支出715百万円、有形固定資産の取得による支出72百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、330百万円の支出超過（前年同期は414百万円の支出超過）となりました。その主な要因は、配当金の支払額364百万円の支出要因があった一方、株式の発行による収入37百万円の収入要因があったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年２月13日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。なお、当該業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,367,177	3,674,953
売掛金	10,158,203	8,506,196
契約資産	215,016	154,993
電子記録債権	339,185	－
商品	740,431	1,075,553
仕掛品	2,699	－
貯蔵品	778	735
未成工事支出金	60,812	260,464
その他	261,446	234,842
貸倒引当金	△1,000	△820
流動資産合計	17,144,750	13,906,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	85,815	147,173
減価償却累計額	△57,486	△64,034
建物及び構築物（純額）	28,328	83,139
工具、器具及び備品	274,331	314,647
減価償却累計額	△244,613	△256,561
工具、器具及び備品（純額）	29,718	58,085
建設仮勘定	－	3,082
有形固定資産合計	58,046	144,307
無形固定資産		
ソフトウエア	1,736,753	1,982,987
ソフトウエア仮勘定	610,529	562,207
無形固定資産合計	2,347,283	2,545,194
投資その他の資産		
関係会社株式	0	－
差入保証金	149,265	135,289
繰延税金資産	154,548	117,384
その他	468	－
貸倒引当金	△36	－
投資その他の資産合計	304,246	252,673
固定資産合計	2,709,576	2,942,176
資産合計	19,854,327	16,849,097

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,065,555	8,918,026
１年内返済予定の長期借入金	3,372	－
未払金	300,181	283,694
未払法人税等	323,477	74,724
未払消費税等	44,177	82,010
契約負債	30,315	8,267
賞与引当金	184,256	147,472
その他	88,213	60,694
流動負債合計	13,039,550	9,574,891
固定負債		
資産除去債務	27,614	59,906
役員株式給付引当金	43,181	78,229
その他	1,206	2,153
固定負債合計	72,001	140,290
負債合計	13,111,552	9,715,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,176	663,025
資本剰余金	846,898	865,746
利益剰余金	5,477,551	5,823,766
自己株式	△225,851	△218,622
株主資本合計	6,742,775	7,133,915
純資産合計	6,742,775	7,133,915
負債純資産合計	19,854,327	16,849,097

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	42,822,603	46,242,934
売上原価	38,303,584	41,518,533
売上総利益	4,519,018	4,724,400
販売費及び一般管理費	3,485,990	3,688,641
営業利益	1,033,028	1,035,758
営業外収益		
受取利息	6,939	10,159
その他	2,063	1,488
営業外収益合計	9,002	11,648
営業外費用		
支払利息	29	0
為替差損	2,540	1,337
固定資産除却損	1,581	－
その他	678	1,620
営業外費用合計	4,829	2,957
経常利益	1,037,201	1,044,449
税金等調整前四半期純利益	1,037,201	1,044,449
法人税、住民税及び事業税	305,891	296,457
法人税等調整額	14,063	37,164
法人税等合計	319,954	333,621
四半期純利益	717,247	710,827
親会社株主に帰属する四半期純利益	717,247	710,827

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	717,247	710,827
四半期包括利益	717,247	710,827
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	717,247	710,827

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,037,201	1,044,449
減価償却費	526,487	534,757
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△69	△216
賞与引当金の増減額（△は減少）	△17,756	△36,784
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	28,787	35,048
受取利息及び受取配当金	△6,939	△10,159
支払利息	29	0
為替差損益（△は益）	3,700	△272
固定資産除却損	1,581	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,161,331	2,051,251
棚卸資産の増減額（△は増加）	△246,333	△532,032
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,822,984	△3,147,528
未払金の増減額（△は減少）	25,437	△15,978
未払消費税等の増減額（△は減少）	△52,948	37,833
その他	81,751	18,257
小計	△280,722	△21,375
利息及び配当金の受取額	6,939	12,405
利息の支払額	△34	△1
法人税等の支払額	△393,590	△580,588
法人税等の還付額	388	369
営業活動によるキャッシュ・フロー	△667,019	△589,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,136	△72,217
無形固定資産の取得による支出	△658,563	△715,783
差入保証金増加による支出	△42,921	△363
差入保証金減少による収入	8,722	14,338
その他	△3,166	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△703,064	△774,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△16,660	△3,372
株式の発行による収入	90,205	37,696
自己株式の取得による支出	△225,786	－
配当金の支払額	△261,964	△364,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	△414,205	△330,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,700	272
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,787,989	△1,693,504
現金及び現金同等物の期首残高	5,759,082	5,360,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,971,092	3,666,722

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

従来、FMセグメントの子会社における一部費用について販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、当連結会計年度の期首より売上原価に含めることとしております。この変更は、費用管理区分を見直すことで精緻な原価管理を行い、事業の実態をより適切に反映するために実施したものです。

この結果、前第３四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、販売費及び一般管理費に計上していた15,621千円を売上原価に組み替えた結果、売上原価は同額増加し、売上総利益、販売費及び一般管理費は同額減少しております。なお、営業利益に影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	MRO事業	FM事業	計				
売上高							
一時点で移転される財又はサービス	33,723,969	7,575,860	41,299,829	9,400	41,309,229	－	41,309,229
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	244,390	1,266,083	1,510,473	2,901	1,513,374	－	1,513,374
顧客との契約から生じる収益	33,968,359	8,841,943	42,810,302	12,301	42,822,603	－	42,822,603
外部顧客への売上高	33,968,359	8,841,943	42,810,302	12,301	42,822,603	－	42,822,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	193,278	193,278	△193,278	－
計	33,968,359	8,841,943	42,810,302	205,579	43,015,881	△193,278	42,822,603
セグメント利益	875,003	103,937	978,940	54,087	1,033,028	－	1,033,028

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウエア関連業を含んでおります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	MRO事業	FM事業	計				
売上高							
一時点で移転される財又はサービス	34,761,338	9,308,360	44,069,699	4,532	44,074,231	－	44,074,231
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	248,049	1,907,253	2,155,302	13,400	2,168,702	－	2,168,702
顧客との契約から生じる収益	35,009,387	11,215,614	46,225,002	17,932	46,242,934	－	46,242,934
外部顧客への売上高	35,009,387	11,215,614	46,225,002	17,932	46,242,934	－	46,242,934
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	195,430	195,430	△195,430	－
計	35,009,387	11,215,614	46,225,002	213,362	46,438,364	△195,430	46,242,934
セグメント利益	859,335	122,727	982,063	53,695	1,035,758	－	1,035,758

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウエア関連業を含んでおります。